

新規連携パス

- ① 化学療法後地域連携パス
- ② 化学療法中地域連携パス

化学療法後地域連携パス

【適応基準】

地域連携パス(化療後)運用を希望する方で

①乳がん術後、補助療法として化学療法後内分泌療法で経過を観察する
リンパ節転移3個以下の患者(温存乳房に対する放射線治療後も含む)

または

②高齢、または当院に通院困難な方で化学療法後内分泌療法で経過観察
する遠隔転移のない患者

【除外基準】

①病期がⅣ期の方(適応基準2)を除く)

②リンパ節転移が4個以上の方

③ホルモン感受性のない方あるいはHER2陽性乳がんの方

④再発・転移に対する治療中の方

⑤地域連携クリニカルパス運用に同意の得られない方

⑥すでにかかりつけ医はあるが、かかりつけ医がパス連携を出来ない場合。

化学療法後地域連携パス

【術後サーベイランスとしての検査項目】

マンモグラフィ、乳腺超音波検査(必須)

採血・腫瘍マーカー(3か月ごと)

婦人科診察(TAM内服の場合)

骨密度(AI剤内服の場合)

胸部レントゲン・腹部超音波検査(半年に1回)

(必要に応じて)

胸腹部骨盤CT(造影)、骨シンチ、PET/CT

*リンパ節転移陰性の場合には骨シンチやPET/CTは行わず、CTでの骨条件で骨転移を評価することもあり

*連携医で行える検査は積極的にお任せする。